



한청통신

韓青通信

2012年1月号

今号のラインナップ：成人祝賀会 / 新成人者の抱負 / 活動報告 / 『歴史の意志を实践する』

／2012年政治決戦に向けて / 情勢 NEWS / 編集後記

韓青2012年の誓い（文世賢中央委員長）

セヘ チュッカハムニダ！

希望に満ちた新年を迎え、在日韓国青年同盟を代表して、新年の決意を表明します。

今年、いよいよ韓国で2大政選挙（4・11総選挙、12・19大統領選挙）が実施されます。

私たちは、この政治決戦で必ずや勝たなければなりません。誇らしい韓国現代史は、外勢に隷属して独裁・分断に依存する5・16売国勢力である権力者たちに対し、大多数の民衆を母体にした自主・民主・統一を志向する4・19愛国勢力が、果敢に闘いを挑み、勝利することで、進歩的な発展を遂げてきました。特に6・15共同宣言の発表は、民族の和解と協力、平和と統一の「6・15時代」を生み出し、民族史に大きな希望の光を与えました。

しかし、ハンナラ党政権・李明博大統領が登場して以降、韓国社会は後退を余儀なくされました。

対米従属を基本柱にする李明博政権は、南北関係においては吸収統一政策を追求し、朝鮮半島の軍事緊張を極度に高めました。経済政策においても、貧富の差を極大化させ、韓米FTAの発効は民族経済の混乱と荒廃を生み出すと言われています。

このような情勢で迎える今年の国政選挙において、私たちは4・19愛国勢力の正統な後継者として、5・16売国勢力との闘いに勝利することが求められています。

また、選挙法の改正により、今年の国政選挙から在日韓国人にも投票権が与えられるようになりました。

これは、在日同胞を韓国政治から意図的に遠ざけることで分断状況を維持しようとしていた一部同胞

集団の誤った影響下におかれていた在日同胞が、その一人ひとりが政治的実体を持つとともに、祖国と政治的に直接つながることで、反民族的な影響力から脱することができる大きな契機であると捉えます。

特に青年層にとっては、蔓延するあらゆる虚無主義を打ち払い、民族的に生きることを正面から捉えなおす画期的な契機となることでしょう。

「青年が立つと祖国が生きる」という言葉がありますが、「市民が権力に勝ち、投票が古い時代に勝った」と言われた昨年ソウル市長選挙でも、新しい時代の原動力と主人公は青年たちでありました。韓国現代史の進歩的発展は、正義と真理に燃える青年学生の本質的な愛国熱情を抜きにしては語ることはできません。

外勢への隷属は分断体制を作り出し、分断体制は独裁や不正と腐敗、そして戦争の危機を再生産し続けてきました。韓青に集う多くの同胞青年は、平和を望んでいます。そして民族の未来が、統一と共同の繁栄であるべきだとも考えています。そして何よりも、真に生きること、民族的に生きることに飢えています。

平和があつてこそ民族の未来もあり、統一と共同の繁栄もあり、在日同胞青年の真実の生もあります。いよいよ迎えた大事な政治決戦の今年。

4月革命の烽火となった合言葉は「뭇 살쪄다! 갈아보자!」（生きられない！変えよう！）でした。

半世紀の時を越え、今、私たちはこの言葉を強く胸に刻みながら、力強く政治決戦に臨み、必ずや進歩的政権交代の実現を果たすことをここに宣言します。



各地方で成人祝賀会を 盛大に開催!!!



2012年を迎えて、全国各地で恒例行事である「韓青成人祝賀会」が開催されました。関東地協が1月8日（日）に、近畿地協が15日（日）、中部地協は22日（日）にそれぞれ開催し、スーツやチョゴリを着た新成人が一堂に会し、大人への一步を踏み出しました。

関東地協では、映像を使ったオープニングに始まり、新成人者企画やゲーム大会などを取り入れるなど、会場をおおいに盛り上げました。最後に新成人が抱負を述べ、参加者からは新成人者に送る歌を合唱するなど、新成人者を祝いました。

また、近畿地協は、伝統成年式で幕をあけました。伝統成年式とは、ウリ民族の伝統的な成人式の習慣としてクァンレ（冠礼）とケレ（笄礼）があります。冠礼と笄礼は、高麗時代からその端を発しており、子供の衣服を脱ぎ、成年期の服装を着ることで、肉体的な成熟だけでなく、精神的な成熟を強調して、真の大人としての品格を備える儀式です。これは、新成人をその社会の一員として受け入れると同時に、社会を担う一員としての責任意識を持つようにすることに、その目的があります。

このように、在日同胞新成人者を、暖かい雰囲気の中、民族的な形式にのっとり祝福し、民族文化を体感する貴重な機会となりました。

そして22日には中部地協でも開催されました。新成人者をあたたかく迎え、先輩からの祝福の言葉や新成人者からの抱負など、民族的な空間の中、親睦と交流を深めることができました。

このように各地域で成人祝賀会を開催し、「民族的に生きる」一步を踏み出す空間を作り出し、新成人者を迎えることができました。

そしてまた3月にあるスノーフェスティバル2012にみんなで参加していこう！そして今年の政治決戦（韓国の2大選挙）の勝利にむけて運動を推し進めていこうと決意を共有しました。



事務所移転のお知らせ

韓青兵庫県本部 西神戸支部の新事務所

移転先：〒 653-0834 神戸市長田区川西通5丁目102-9 CSビル318

今後ともご支援・ご指導よろしくします。



新成人者からの抱負

東京本部 チャン・チュンミ

私が韓青に参加するようになって1年が過ぎ、1年前の私はまさか成人式で、チマチョゴリを着ることが出来るとは想像もしていなかったと思います。今回、韓青成人祝賀会に参加して、こんなにも成人をお祝いしてもらうことに感動しました。在日同胞だからこそこんなにも祝福してくれるのかもしれない、朝鮮民族の情の厚さを改めて感じました。

韓青成人祝賀会では成人者である私に関する〇×ゲームや楽しいレクリエーションなどから始まり、最後にはウリマルの歌をみんなで歌ってもらい、そこでは何故だか涙まで流れてしまいました。可愛いチマチョゴリを着せてもらい、多くの同胞からのお祝いの言葉なども頂き、本当に感謝の気持ちでいっぱいになりました。

1年前の私はチマチョゴリを着て成人を迎えることを夢にも見ていなかったと言いましたが、韓国と日本のダブルである私は韓青に出会う前は日本人として振袖を着ることしか考えていなかったからです。韓国人としてチマチョゴリを着て成人を迎える。また次の日に振袖を着て成人を迎える。在日、ダブルであるから出来る貴重な経験だなと思いました。

私はこれから韓国に1年留学に行きます。元々の目的はニューカマーである母が育った土地で暮らし、韓国語を学びたいと思っていました。韓青に出会うこともなく、このまま韓国へと留学に出発していたら依然と目的が変わることもなかったと思います。韓青に出会ったあとに韓国に留学に行けることはまた違った留学生生活を過ごせると思います。1年後留学を終え、韓青にまた帰ってきたときには向こうで吸収してきたことを韓青で発散したいと思います。

大阪本部 イ・チェハ

今回、私たち新成人のために素敵な祝賀会会場を用意してくれた韓青の先輩の皆さんと、成人した私たちのためにお祝いに来て下さったOB・OGさんに感謝したいと思います。

祝賀会では大いに談話に盛り上がり、お酒を酌み交わしながら美味しく食事もできて本当に良かったです。

韓青の先輩たちは皆、いつも心遣いが細やかで、場の雰囲気盛り上げるのに一役買ってくれるので、私は皆さんの気持ちにいつか応えられるように、日々精進していこうと思っています。

記念撮影といい、二次会といい、韓青成人祝賀会で楽しく過ごせて大満足でした。

次の私の後輩の成人式の時も心よく迎えて見せたいです。

ありがとうございました。

活動紹介



韓青大阪府本部が盟員総会を開催！

12月23日、韓青大阪府本部事務所にて「韓青大阪府本部 盟員総会」を開催しました。当日は、大阪府本部の常任、盟員たちが一堂に会し、また、中央本部から激励辞がおくられました。

盟員総会では、まず、韓青に参加して間もない盟員たちに対して、韓青という組織のそもそもの目的や役割、韓青大阪がこれまで臨時体制として運営してきた経緯を解説。その上で、2010年秋以降臨時体制となった運営体制を正常化するべく、論議を行いました。結果、①臨時設置していた運営委員会を解散し、運営機構を支部常任委員会と本部常任委員会へと改変 ②本部委員長（代行）を選出し、責任者とするを合意。委員長代行には、盟員の総意により、李俊一・中央副委員長が選出されました。

就任挨拶において李俊一委員長は「韓青は在日同胞の解放のために祖国の問題と向き合い、解決しようとしている大切な組織。盟員一人一人を大切に、その主体性を存分に発揮しながら、これから韓青大阪を発展させていきたい。ともに楽しみながらがんばっていこう」と語りました。

総会終了後は、盟員たちと活発に意見交換を行い、今後の韓青大阪の躍進を誓い合いました。

関東を中心に政治課題への取り組みを実践！

韓青や韓統連への韓国領事館による旅券発給拒否や期間制限、組織からの脱退強要など卑劣な人権侵害に関連して、12月2日に「日韓民衆連帯の集い」が都内で開催されました。韓青では関東地協（東京、神奈川）を中心に参加して韓国の闘争歌とメッセージを披露し、李明博政権による公安弾圧と人権侵害の状況を明らかにし、広く支援・協力を訴えました。



また、それに先立つ11月28日には、韓統連や民主女性会の代表の方とともに、李明博・ハンナラ党政権による韓米FTA批准の強行採決に反対する駐日韓国大使館への抗議行動を行いました。日本の警察官の妨害によって抗議文の伝達さえも遮られる状況でしたが、代表たちは韓米FTAの批准署名中止・無効化、李大統領の退陣、ハンナラ党の解散を力強く要求しました。



そして12月14日、日本軍「慰安婦」問題解決を訴える水曜デモ1000回目に呼応した連帯行動にも積極的に参加しました。東京では外務省を囲む「人間の鎖」アクションに参加し、日本政府に対して問題解決を求めるとともに連帯の絆をつないでいくことを明らかにしました。



Pick up

- 12月11日に「第48回韓青全国冬期講習会 実行委員会」を東京で開催しました。全国が一丸となり、3月の講習会成功に向けて走り出しています！
- 全国の拠点で年末にクリスマスパーティー・送年会が多くの同胞青年が集う中で、盛大に開催されました。



韓国語教室

「ムグンファ」

見学・体験レッスン随時受付！

担当：金梨恵(キム・イ)

080-6510-1973

韓国語教材専門インターネット書店

ハングルの森



Internet Bookstore

한글의 숲

<http://www.rakuten.co.jp/eac-hg/>

歴史の意志を実践する！

連続企画「歴史の意志を実践する！」。このコーナーでは、裴東湖記念研究所より発刊されている『歴史の意志を實踐する－唯物弁証法と民族主義で読む「愛国論」の世界』の学習を通じて、韓青盟員が理論学習を積み、日々の実践に還元していくために、そして民族的に生きる力としていくために、学習のフィードバックレポートを掲載していきます。今回は第5回目として、学習会に参加した感想・決意を全国の同志にむけて、愛知県本部のチョ・キルチュン委員長が述べてくれました。

チョ・キルチュン

私たちは何故活動しているのでしょうか？私たちは何故生きているのでしょうか？このような漠然とした疑問を抱いたことが、活動家の皆さんなら一度はあると思います。私にとって、「歴史の意思を實踐する学習会」は上記の疑問と向き合うために最良の契機を与えてくれました。

所長自ら参加して頂いた数回に及ぶ学習会において、「人間とは何か」という問いを人類史の発展から考察した内容に、私は自分の意とは反対の質問を何度も投げかけました。「人間の本性は主体性と言っても、何もしたくない楽をしたいという意志も主体性では無いのでしょうか？環境の中で生きていると言っても、現状に不満を感じていないから大多数の同胞（韓青盟員も含めて）は日本社会に埋没しているのではないのですか？考えさせられないようにしていると言っても、考えようとしなくても自分の意志では？『自分さえ幸せならば良い』と、現状はほとんどの人が思っていないですか？人生をかけて活動している人はごく少数で、単なる慣れ合いで参加しているだけなのにそれだけで民族的だと思い込んでいる人が大多数なのでは？組織内で何かと理由を付け、責任を負いたくないから他人の非難をすることで自己を正当化し、その行為によって自己の存在を確認しているだけでは？日本社会は・・・と非難しながら、自分達も同じことをしているのではないですか？」云々。

以上のような質問を投げかけさせて頂いたのは、私が単なる「困った幹部」になりたかった訳でなく、自分自身がこの活動を自らの人生と重ね合わせていくためには「否定の否定」が必要だと思ったからです。色々の確な解答を頂く中、最終的な所長の答えは「このように生きるのが絶対正しいという明確な答えは人類史においてまだ確立していない。」というものであり、納得したと同時に、我々は理想を実現していくための過程を生きているのだと考えさせられました。

万物は全て変化するが発展もすれば後退もする。差別を無くしたいと言いながら、行動になかなか移さず、本心は差別が無くなるとも思っていない。これは結局、人間の可能性を信じない腐敗した考え方だと思います。通信④の中に、「自分が朝鮮人であるということにしっかりと向き合ってこそ、歴史の評価に耐える生き方だ」という一文がありました。「真に人間らしく生きる、その為に社会を変革していく。」その過程を追うことで、自分自身が人間として解放されていく。「生きるとは？人間的とは？」を常に自分のルーツに根ざして自問自答しながら生きていかなければなりません。

そして何より、韓青は組織の戒律よりも統一と団結を大事にするべきだと所長の生き方から学びました。自分の生き方を常に模索し、祖国統一という人類史・民族史の発展に寄与する過程を共に生きる同志を大切にしていくことを。今後も所長をはじめ諸先輩方から多くの事を吸収し、歴史の評価に耐える生き方を先頭に立って実践していきたいと思えます。

～2012年 政治決戦に向けて～

そうだったんだ！ 国政選挙

Vol.5 プレイバック国政選挙③

《第13代大統領選挙（1987年12月16日）》

～光州から6月へ - 憲法改正、大統領直接選挙へ！～

● 新たな独裁者の登場！

1979年10月26日。朴正熙（パク・チョンヒ）大統領が側近に射殺された直後、「肅軍クーデター」で軍の実権を掌握した全斗煥（チョン・ドゥファン）、盧泰愚（ノ・テウ）少将らは、民主化を求める声を武力で鎮圧します。5月18日には非常戒厳令を全国に拡大、光州に特殊部隊を投入し多数の市民・学生を虐殺しました。この過程で金大中氏が光州市民の「扇動者」として逮捕され、「反国家団体」の韓民統議長であるとして国家保安法で死刑を宣告されます。こうして全斗煥は権力を掌握していきました。



▲光州市民を鎮圧する特殊部隊

大統領に就いた全斗煥は、「社会浄化」という名目で全ての政治的反対勢力を政界から追放し、8,500余人におよぶ公務員と言論人を無理やり辞職させ、反対する民衆を監獄や三清教育隊に連行し強制労役をさせるなど、政権強奪による不満を抑えようと躍起になります。一方で権力と癒着した大型不正事件も続発し、民衆の怒りは収まるどころか高まるばかりでした。

● ソウルをつつむ『護憲撤廃！独裁打倒！』

87年1月、当局に拘束されていた朴鍾哲（パク・チョン Chol）学生が、水拷問の途中で窒息死したことが明るみになるや、民衆は追悼集会とデモを敢行し、全斗煥政権の退陣を強力に求めました。しかし全斗煥政権は4月13日、護憲（＝間接選挙の維持）を旨とする特別談話を発表して体制維持を鮮明にします。これに対抗して野党、在野勢力は6月10日、護憲撤廃の国民大会を強行しました。特にソウルでは前日のデモで李韓烈（イ・ハンニョル）学生が催涙弾を受けて重傷（後に死亡）を負い、民衆からの圧倒的な激励と支持を受けて明洞聖堂での座り込み闘争に突入しました。そして26日には全国で「国民平和行進」が行われ、100万人以上がデモに参加し、「護憲撤廃！独裁打倒」を叫びました。これに屈した政権側は、ついに大統領直選制を含む憲法改正を宣言（6・29宣言）します。民主化への偉大な一歩が踏み出されたのでした。



▲ソウルを埋めつくした民衆

しかし大統領直選制のもと年末に行われた大統領選挙では、野党候補者を一本化できず与党の盧泰愚候補が当選、軍政の継続を余儀なくされました。



情勢 NEWS

<2012年！いよいよ決戦のとき>

2012年、わが民族にとって重要な転機となる年がいよいよ明けました。韓国では、今年の4月に国会議員総選挙、12月に大統領選挙があります。2008年の執権以降、北朝鮮に対する執拗な敵対政策によって、南北関係を一気に冷却化させ、韓米自由貿易協定(F T A)の強行採決により、米国に対する隷属をさらに深めわが民族の自主権を自ら放棄し、金持ち優先の経済政策によって民衆の生活を極限にまで苦しめた李明博政権に対して、審判を下すときが来たのです。

ハンナラ党の再執権阻止に向け、国内ではこの間野党圏が活発に活動しています。昨年12月11日には、民主労働党、国民参与党、ほか進歩的立場を持った人々が結集し、「統合進歩党」が出帆しました。李正姫氏、柳時敏氏、沈相奵氏が共同代表として就任し、これまで長らく課題であった進歩勢力の統合を名実ともに果たすとともに、▲韓米F T A批准阻止、S O F Aなど不平等条約改正及び廃棄▲社会的安全網拡充、普遍的福祉実現▲韓半島の平和と統一実現▲韓国政治の変革など5種類を政策公約として提示しました。今後、このような進歩政党が、選挙戦を通じてどこまで勢力を拡大できるか、政策決定に影響力をもつ「院内交渉団体」としての地位を確立できるかどうか、韓国社会の進歩的政権交代にとって重要な要素となっていくでしょう。また、最大野党である民主党も、「市民統合党」などの革新勢力とともに「民主統合党」を結成し、1月15日に党代表として韓明淑元首相を選出しました。代表選出に当たっては、党員はもちろん、65万人もの市民が代表選挙に参加しており、野党圏の巻き返しを、民衆の多くが期待している現われととれます。

今後の課題としては、なんととっても野党圏の



▲統合進歩党結成大会

連帯です。統合進歩党は16日、民主統合党に対して19代国会で推進する両党共同立法課題と共同政策公約、総選挙で選挙区単一候補を選定する政治協議を開催するよう提案しました。民主統合党もそれに対して応じる様子を見せていますが、具体的な動きは旧正月明けになると見られています。短期的な利害やこだわりを押し、李明博・ハンナラ党政権の打倒による、進歩的政権交代という大目標のために、野党圏の各党の努力が今後必要となってくるでしょう。それらを後押しする民衆の声も、よりいっそう高めなければなりません。

一方で、このような重要な選挙戦に対する在日同胞の意識は、現状決して高いとはいえません。4月11日の総選挙に導入される在外韓国人の選挙登録申請は、19日現在で全有権者の2.49%に当たる5万5000人とあり、在日同胞はそのうち3700人の登録にとどまっています。今年選挙の結果は、私たち祖国の運命を大きく左右し、当然ながら在日同胞の未来にも大きく影響を及ぼします。これまで祖国の状況にたいして直接的な関与がしにくく、歯嚙みしていた歴史を振り返ると、今回の選挙はまさに在日同胞自らが未来を作っていく絶好の機会です。私たちは、地域の在日同胞一人一人に、改めて選挙の広報と参与への呼びかけをしていかなければいけません。

PICK UP! ◎ スノーフェスティバル2012

韓青のビックイベント／『第48回韓青全国冬期講習会』 - スノーフェスティバル2012の開催が迫ってきています。全国各地から同胞の仲間たちが集まりスキー・スノーボードにゲームと民族文化を満喫しよう!!!

☆☆☆SFのメインイベント韓青文化マダン☆☆☆

2日目の夜、韓青文化マダンでは民族文化の発表が目白押しです。

民族楽器やタルチュム(仮面舞踊)ノレ(歌)など各地方で練習してきた成果を発表!!! 韓国人でよかった! そう思える最高の空間です。みなさんも是非参加してみませんか?すでに各地方で練習をおこなっています。

☆☆☆今年のラインナップは・・・☆☆☆



東京本部
ノレアンサンプル

兵庫県本部
ブンムル



大阪府本部
タルチュム



三重県本部
サムルノリ

神奈川県本部
雲雨風雷



愛知県本部
構成劇



京都府本部
律動

*このような韓青でしか味わうことの出来ない民族的空間「スノーフェスティバル2012」へ行こう!
今すぐフリーダイヤルへ!!! その一歩から民族の扉が開かれる!!!

日程 : 3月2日(金) ~ 3月4日(日) ※出発は3/1(木)の深夜

場所 : 長野県 志賀高原 志賀ハイランドホテル

参加費 : 一般28,000円 高校生23,000円 (交通費・食費・イベント代込み)

お問い合わせ

0120-734-101まで

編・集・後・記



セヘ ポン マーニ パドゥセヨ。2012年最初の韓青通信が出来上がりました。今年は、韓国総選挙、大統領選挙がおこなわれる重要な年です。私たちが積極的に参与して、祖国を変えていく1人となっていきましょう。今年もさらに充実した韓青通信を発信するために、日々努力をしていきます。今年もよろしく願います。(徐)